

怖い、魅力的、清々しい……！ 書店員さんから感想、続々！

達成感から虚しさへ 狂気から正気へ
相反する感情に翻弄され、
**あえてドロドロになって
沈みたい衝動にかられて一気に読みでした。**
喜久屋書店小樽店 渡邊裕子さん

どう足掻いても、抜け出せない底なし沼でした。

**ホラーを読んでいるのに、
どうして共感してしまうのか。**

身に覚えのある、拗らせた誰にもいえない
気持ちを、引き摺り出されました。

卓示書店河口湖 BELL 店 Kさん

**これは触れてはいけない。
知ってはいけない。**

ただただ関わった人々が
無事にやり過ごせますようにと
祈る気持ちすらあった。

宮脇書店ゆめモール下関店 吉井めぐみさん

心がザラつく作品でした。

陰惨なのに、なぜか清々しさを感じる。

関わってはいけないものと関わって
しまった時、人が辿る運命は一つしかない。
スーパーブックスあおい書店春日店 H・Nさん

なんて魅力的な恐怖なのだろう。

ページをめくる手が止まらない。

そして同時に「もっとやれ」とどこかで思ってしまう。

**どうやら私もおそろしい“モノ”に
出会ってしまったようだ。**

ジュンク堂書店吉祥寺店 田村知世さん



東京創元社

東京創元社

**あなたも気付けば魅了されている。
一気に読み必至の衝撃作！**
ろ か こう えん
芦花公園『とらすの子』